

# 平成26年度電波の日・情報通信月間記念式典を開催

～ 中国地域で電波の利用と情報通信の発展に貢献のあった22の個人・団体を表彰 ～



式辞を述べる齊藤局長



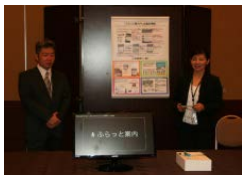
約250名の関係者が出席



小林衆議院議員、鈴木広島県  
総務局長からのご祝辞



4Kテレビ放送



Google Glass



中国総通局チャンネル

中国総合通信局(局長:齊藤一雅)は、中国情報通信懇談会(会長:山下隆 中国経済連合会 会長)との共催により、平成26年6月2日、広島市において、「平成26年度電波の日・情報通信月間」記念式典を開催しました。式典には、関係者約250名が出席されました。

式辞の中で、齊藤局長は、「ICTの技術とアイデアで地域の元気をつくる、言い方を変えれば、それぞれの地域が抱える課題の解決や目指すものの実現のためのお手伝いをしたい。それが、当局の目標であり、ミッション。中国地方は中山間地域や離島が多く少子高齢化・人口減少社会を先取りした課題先進地域であるが、だからこそ、官民及び住民の方々による真剣な取り組みがある。そうした地域のチャレンジの中から、沢山の全国の模範になる地域再興のモデルを生み出してほしい。当局としては、今後も皆様と一緒に地域の発展のために全力で取り組みたい。また、YouTube上の動画広報チャンネルの『中国総通局チャンネル』を通じて、中国地域の先進的な取り組みを広く紹介していきたい。」と述べました。

次に、ご来賓として、衆議院議員の小林史明議員と広島県の鈴木清総務局長が祝辞を述べられ、その後、中国地域で電波の利用と情報通信の発展に貢献のあった22の個人・団体に対し、齊藤局長から局長表彰の表彰状が授与されました。

式典の終了後に開催された情報交換会では、「ICT機器展示」として、当日から試験放送が開始された4Kテレビ放送展示・デモ(NHK広島放送局)、Google Glass展示・デモ(ソフトバンクモバイル株)、「中国総通局チャンネル」上映(中国総合通信局)の3つのブースが設けられました。

中国総合通信局では、今後も“ICTの技術とアイデアで地域の元気をつくる”をモットーに、様々な施策にチャレンジしてまいります。

「電波の日」(6月1日)は、昭和25年6月1日に電波法・放送法等が施行され、電波利用が広く国民に開放されたことを記念して国民の電波に関する知識の普及・向上と電波利用の発展に役立つように制定されたものです。

「情報通信月間」(5月15日-6月15日)は、昭和60年に情報通信の普及・振興を図ることを目的としてもうけられ、期間中は、全国各地でさまざまな行事が実施されます。

<お問い合わせ先> 中国総合通信局 総務課 082-222-3302 企画広報室 082-222-3445